

Zoom でつなぐ 西益津中×(株)OSPOオキノスポーツ義肢装具

～西益津中2年生が義肢装具士にインタビュー！～

11月24日（火）、西益津中学校と「株式会社OSPOオキノスポーツ義肢装具」をZOOMでつなぎ、西益津中2年生が義肢装具士である沖野氏から、義肢装具士の仕事について学びました。



2年生は、車いす陸上選手の講話を聞いたり、障がい者理解のための授業を通して学ぶ中で、今回は障がい者を支える仕事について学習を深めるために実施。義肢装具士の仕事内容ややりがいなどを積極的にインタビューしました。



義肢装具士とは

医者の指示のもと、患者さんの体にあった義手や義足を作製するお仕事です。講師の沖野さんは、パラスリートの義肢装具を手がけており、リオパラリンピックメダリスト・佐藤圭太選手の義足も担当されています。

子どもたち >>> 専門家

(株)OSPOオキノスポーツ義肢装具
沖野さん

Q1. 仕事のやりがいを感じる時は？

A1. 義肢装具を使う“ユーザー”が喜んでくれたときです。
相手の喜びが自分の喜びに繋がります。

Q2. 困難や壁にぶつかったとき、どうしていますか？

A2. 具体的なゴールをイメージし、それに向かって努力します。
あとは、**気持ちの切り替え**が大事です。リフレッシュして、**違う視点から物事を見る**ようにしています。

本授業は、職業観育成事業として、様々な専門家と藤枝市内の子どもたちをテレビ会議システムでつなぎ、キャリア教育の一環として行っています。